

鍼灸科

中医学概論 2

| | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----|----|------|---|----|-----|-----|----|----|---|
| 対象 | 2年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | 必 | 種別 | 講義 | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 矢野恭一郎 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | 鍼灸師 | | | | |

授業概要

東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養います。

到達目標

基礎的な東洋医学、東洋思想を把握する。東洋医学的な病因病機の理解、診断法が理解でき、患者の身体の状態を正しく把握し、東洋医学的な弁証を行うことができる。

授業方法

この授業では東洋医学概論3と並行して行うため、東洋医学概論3の前回の復習と理解度の確認を行う。個人ワーク以外にグループワークを取り入れ、患者役と施術者役のロールプレイにより理解を深める。後半12回以降は各論のため、東洋医学だけでなく現代医学の病態把握方法も確認させるワークを取り入れる。

成績評価方法

期末試験で100%評価する

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

東洋医学臨床論東洋療法学校協会編

| 回数 | 授業計画 |
|-----|-----------------|
| 第1回 | 東洋医学概論東洋医学の診断法1 |
| 第2回 | 東洋医学概論東洋医学の診断法2 |
| 第3回 | 東洋医学概論八綱弁証 |

鍼灸科

中医学概論 2

| | |
|------|--------------|
| 第4回 | 東洋医学概論八綱弁証 |
| 第5回 | 東洋医学概論氣血津液病証 |
| 第6回 | 東洋医学概論氣血津液病証 |
| 第7回 | 東洋医学概論氣血津液病証 |
| 第8回 | 東洋医学概論六經病証 |
| 第9回 | 東洋医学概論六經病証 |
| 第10回 | 東洋医学概論經絡病証 |
| 第11回 | 東洋医学概論經絡病証 |
| 第12回 | 中医学各論 |
| 第13回 | 中医学各論頭痛 |
| 第14回 | 中医学各論頭痛 |
| 第15回 | 中医学各論顏面痛 |